

事業企画書

団体名	弘前城Q&R実行委員会			
事業名	第3回弘前城Q&R開催事業 ※ 新規 ・ 継続 (同じ事業での申請 2 回目)			
事業実施 予定の期間	平成 28年 7月 1日 ~ 平成 28年 9月 25日			
事業実施 予定の場所	弘前公園	参加予定 の人数	約 350 人	※継続申請の場合 昨年度の参加人数を 記入してください。
			(うち構成員数 17人)	約160人 (うち構成員数 11人)

○今回申請する事業についてお書きください。

<p>この事業を始めることになったきっかけや、事業実施の目的は何ですか。</p> <p>【審査の視点：必要性】</p>	<p>(きっかけ) 近年、若者の運動離れが叫ばれたり、青森県として「短命県返上」を推進していたりする中、市民が気軽にスポーツを楽しむ場が少ないことを日々感じ、平成26年度にNPO法人スポネット弘前でスポーツレクリエーションプランナー養成講座エキスパートコースを受講した。その中で第1回弘前城Q&Rを企画・運営し、普段から運動する人からしない人まで多くの方々に参加していただいたことで、イベントをきっかけに習慣的に運動するようになったなど若者の運動機会の拡充による健康増進を感じた。加えて、当日のボランティアスタッフとしての参加をきっかけに他ボランティアへ参加するようになったなど、若者世代の地域コミュニティの参加意識の向上もみられた。</p> <p>また、弘前市は「学都」でありながら、学ぶ学生が就労時に弘前に居住しようとする傾向が弱い。加えて、他地域へと進学した学生が就労時に弘前に戻ってくる傾向も弱いことから、地域人材の流出が顕著である。これらは若者世代の「弘前離れ」が進んでいることが原因として考えられる。そこで、弘前で最も有名な場所ともいえる弘前公園で、若者向けイベントを開催することで若者の興味を引き付け、その中で弘前に関するクイズやミッションをこなすことで、若者の弘前に対する興味関心が向上し「弘前が好き」「弘前にいたい」「弘前楽しい」と言ってもらえるようになり「弘前離れ」を改善していくと考えた。</p> <p>以上の現状を踏まえ、更なる運動及びボランティア機会の拡充による健康増進及び地域コミュニティの活性化を目指すとともに、若者世代の「弘前離れ」を改善する方策として、弘前城Q&Rを開催することが必要だと考えたことがきっかけである。</p> <p>加えて、本イベントの企画・運営に携わっていくうちに、子供たちへのアプローチも必要だと感じ、今回まず小学生に向けてということで、小学生版の開催に至った。</p> <p>(目的) 若者向けイベントである「弘前城Q&R」を弘前公園で開催することで、若者世代の弘前に対する興味関心を高め、加えて、20代30代の若者世代の運動及びボランティア機会の拡充並びにきっかけづくりによる、更なる健康増進及び地域コミュニティの活性化により、現状以上に「弘前が好き」「弘前にいたい」「弘前楽しい」と思えるような環境を形成していき、若者世代の「弘前離れ」を改善していく。</p> <p>また、今回より小学生版を開催することで、小さいころの体験によって弘前と運動が好きな若者に成長していってくれるように寄与したい。</p>
<p>この事業は、どのような人のために、どのような内容・方法で実施しますか。</p> <p>【審査の視点：公益性、実現性】</p>	<p>(対象となる人) ・大人版の主たる対象は弘前市又はその近郊在住の20代30代男女。120名 参加資格：18歳以上（市内外問わず） ・小学生版は弘前市又はその近郊在住の小学生が対象。90名 参加資格：小学生であること（市内外問わないが、保護者同伴） ・ボランティアは主に大学生、20代30代の男女を想定している。115名</p> <p>(内容・方法) H28年9月18日曜日に弘前公園を会場とし、弘前に関するクイズやミッションをこなしながら、鬼から逃げるというオリエンテーリング形式で若者向けイベントを開催する。</p> <p>3人1チームでクイズとミッションによる加点、鬼に一回捕まるごとに減点となるポイント制を採用することで、捕まってもすぐに競技に参加することができるため、運動があまり得意でない人でも気軽に参加できるようにしている。</p>

また、クイズやミッションは弘前又は弘前城などに関係するように企画し、順位による賞品も地域産品にこだわることで、弘前への愛着が湧くような内容になるよう意識して企画している。

今回から導入される小学生版においては、弘前への愛着が湧くような内容とともに、他の小学校の生徒と公園で思いっきり走ったり、ゲームをしたりすることで頭と一緒に体を一杯動かす楽しさを感じてもらえるような企画としている。

事前告知として、チラシ、ポスターを弘前市内各施設・店舗・市内小学校などに配布・掲示することに加え、市の広報誌やホームページ、SNSを用いた広報活動を予定している。

当日スケジュール

9時：小学生版受付
10時：小学生版スタート
11時：小学生版終了
12時：大人版受付
13時：大人版スタート
16時：大人版終了

※継続申請の場合、記入してください。

(新たな内容や改善点など、前回との違い)

- ・小学生版の同日開催
- ・イベントコンセプトの設定
- ・協賛金募集の開始
- ・イベント開催日の変更
- ・HPの作成やSNSの更なる活用による広報力の強化
- ・露店の出店による独自の財源の獲得

(NO.2)

○実施スケジュールについてお書きください。【審査の視点：実現性】
(準備作業から事業終了後の報告まで、できるだけ具体的にお願いします。)

日程(月日)	実施内容	場所	時間	参加者数等
7月1日	ポスター・チラシ発注			
7月16日	ポスター・チラシ掲示依頼	市内	3時間	20人
7月17日	打ち合わせ	ヒロコ交流室	3時間	20人
7月23日	ポスター・チラシ掲示依頼	市内	3時間	20人
7月24日	打ち合わせ	ヒロコ交流室	3時間	20人
7月30日	ポスター・チラシ掲示依頼	市内	3時間	20人
7月31日	打ち合わせ	ヒロコ交流室	3時間	20人
8月1日	参加者・ボランティア受付開始			
8月6日	備品・賞品購入	市内	3時間	20人
8月7日	打ち合わせ	ヒロコ交流室	3時間	20人
8月13日	備品・賞品購入	市内	3時間	20人
8月14日	打ち合わせ	ヒロコ交流室	3時間	20人
8月20日	備品・賞品購入	市内	3時間	20人
8月21日	打ち合わせ	ヒロコ交流室	3時間	20人
8月27日	備品・賞品購入	市内	3時間	20人
8月28日	打ち合わせ	ヒロコ交流室	3時間	20人

8月31日	参加者・ボランティア受付締切			
9月1日	当日配布パンフレット完成			
9月3日	ボランティア説明会準備	ヒロコ交流室	3時間	20人
9月4日	ボランティア説明会	ヒロコ交流室	3時間	50人
9月10日	ボランティア説明会準備	ヒロコ交流室	3時間	20人
9月11日	ボランティア説明会	ヒロコ交流室	3時間	50人
9月16日	イベント準備	弘前公園他	3時間	20人
9月17日	イベント準備	弘前公園他	6時間	20人
9月18日	イベント当日	弘前公園	12時間	350人
9月19日	イベント撤収作業	弘前公園他	6時間	20人
9月25日	反省会	ヒロコ交流室	3時間	20人

○申請する事業の実施効果についてお書きください。【審査の視点：公益性】

<p>この事業を実施することによって、市民や地域に対してどのような効果が期待できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前にちなんだクイズやミッションを解くことや、身近な場所で若者向けイベントを開催することによる弘前市への興味関心の向上によって、シビックプライドの醸造へとつなげ、若者の「弘前離れ」の改善をしていく ・普段あまり運動しない方の運動機会の拡充や、運動を始めるきっかけの創造による市民の健康増進 ・若者のボランティア参加機会の拡充による地域コミュニティの活性化 ・小学生版を開催することによって、小学生が弘前を感じ、弘前について考える機会の形成 ・小学生が身体を動かすことに積極的になり、生涯を通じてスポーツを楽しんでいけるような人格形成への寄与 ・新たな弘前公園の利活用方法として地域資源の有効活用 ・20代30代の弘前の官民学から人が集まり企画・運営することによる地域人材の育成及びNEXTオール弘前形成の機運の醸造
--	--

(NO.3)

○来年度以降の事業の展開についてお書きください。【審査の視点：将来性】

<p>来年度以降のこの事業を、どのように継続・展開させていく予定ですか。</p>	<p>【予算面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント認知度上昇に伴う協賛金の拡充 ・露店出店による利益の拡充 ・参加者枠の拡大による参加費の増大 ・クラウドファンディングによる予算獲得の検討 ・動画配信による広告収入を得る方法の検討 <p>【内容面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の変更や問題内容及び出題方法、ミッション内容など参加者アンケートを大事にしてゲームバランス含めブラッシュアップしていく。 ・ボランティアスタッフの参加感という部分も意識しながら、業務などを割り振っていく <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会のメンバーの習熟度が上昇することでのイベント企画の発展 ・専用アプリの開発 ・市内他イベントとのコラボ
--	--

○来年度以降の財源についてお書きください。

来年度以降も、補助金申請を要望しますか。	<p>(<input checked="" type="radio"/> 要望する ・ <input type="radio"/> 要望しない)</p> <p>↓ いつまでをお考えですか。平成 (32) 年まで</p> <p>※当補助金は単年度申込み補助制度ですので、今年度採択された場合でも来年度の申請が必要です。</p>
----------------------	--

○他の補助制度の活用についてお書きください。

今回申請した事業について、ほかに活用する補助制度はありますか。	<p><input checked="" type="radio"/> 無 ・ <input type="radio"/> 有 (補助制度の名称：)</p>
---------------------------------	---

○保険についてお書きください。

事業を実施する際、保険へ加入する予定ですか。	<p>加入しない ・ <input checked="" type="radio"/> 加入する</p> <p>(保険の名称：三井住友海上 レクリエーション傷害補償プラン)</p>
------------------------	---

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 2 用紙が不足する項目は、別紙としてください。

収支予算書 【審査の視点：費用の妥当性】

1 収入

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要	昨年度の 交付確定額
市民参加型まちづくり1% システム支援補助金	500,000	500,000		313,000
参加費	165,000		大人版：120人×1,000円 子供版：90人×500円	
協賛金	100,000			
露店出店代金	30,000			
団体会費	66			
収入合計	795,066		※支出の合計と同額	

2 支出

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要	昨年度の 交付確定額
消耗品費及び原材料費	136,376	136,376		78,716
食糧費	57,500	11,500	内補助対象外46,000円	5,138
燃料費	20,000	20,000		
印刷製本費	220,500	220,500		108,940
保険料	15,750	15,750		6,633
使用料及び賃借料	120,500	120,500		10,938
その他経費	224,440	119,440	内補助対象外105,000円	147,828
支出合計	795,066	644,066		358,193

※継続申請の場合は、昨年度の交付確定額を記入してください。

補助金の額の算定根拠	<p>① (補助対象経費) × (補助率0.9) ≒ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て $(644066) \times (0.9) \doteq (579000)$ ✓</p> <p>② (支出総額) - (参加費・協賛金等の収入) ≒ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て $(795066) - (295000) \doteq (500000)$ ✓</p> <p>①・②のいずれか少ない額 (補助金申請額) <u>500,000</u> 円 (原則50万円を限度)</p>
------------	--

3 支出内訳書

項 目	品 名	数 量	単 価	金 額	採択金額	摘 要
消耗品費及び 原材料費	コピー用紙			12,000	12,000	
	ラミネートフィルム	2	2,500	5,000	5,000	
	ブルーシート	10	1,000	10,000	10,000	物品搬入時の保護 ゆるキャフの替 え 参加者の荷物置き
	雑巾	20	100	2,000	2,000	
	ミッション関係物品			60,000	60,000	
	鬼服装	15	3,000	45,000	45,000	
	賞品袋	15	108	1,620	1,620	
	クリップボード	7	108	756	756	昨年、33個購入済 み
食糧費	ボランティアスタッフ飲み物	115	100	11,500	11,500	作業時
	スタッフ弁当	120	300	36,000	0	※補助対象外
	打ち合わせ時お菓子飲み物代			10,000	0	※補助対象外
燃料費	ガソリン代		120	20,000	20,000	発電機・レンタカー
印刷製本費	イベントチラシ	2,000	30.24	60,480	60,480	
	イベントポスター	150	183.6	27,540	27,540	
	参加者パンフレット	350	231.43	81,000	81,000	
	賞状	15	432	6,480	6,480	
	資料印刷代			45,000	45,000	ボランティアス タッフマニユア ル、会議資料、小 学生配布チラシ
保険料	スポーツ保険料	210	75	15,750	15,750	
使用料及び 賃借料	会議室使用料			20,000	20,000	
	レンタカー	3	6,000	18,000	18,000	
	弘前公園使用料			20,000	20,000	
	有料区域入園料(大人)	250	250	62,500	62,500	
その他経費	のぼり	10枚	1,290.6	12,906	12,906	昨年40式購入
	のぼりポール	10本	653.4	6,534	6,534	
	賞品	15		100,000	100,000	
	協賛募集委託費	1	30,000	30,000	0	※補助対象外
	大人版参加賞	240	200	48,000	0	※補助対象外
	子供版参加賞	90	300	27,000	0	※補助対象外
合 計				795,066	644,066	

備考

- 1 太枠内は記入しないでください
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 3 用紙が不足するときは、別紙を添付してください。